

令和4年度のスタート!!

1学期がスタートしました。短い春休みでしたが、充実した休みだったでしょうか。新しい学期のスタートには、やはり目標を明確にすることが大切です。また、令和4年が始まって早3か月が過ぎました。お正月に立てた今年1年間の目標の進み具合はどうか。こちらも反省をしながら軌道修正してやる必要があります。新型コロナウイルス感染症の状況はまだまだ気が抜けませんが、とにかく休校などがなくいつも通りに新学期がスタートできたことへの感謝を忘れず、各人が対策をしっかりとしながら頑張っていきましょう。



新教職員着任式と離任教職員の紹介

先週の金曜日はオンラインで新しい教職員の着任式がありました。本年度はサポーター等の職員も含めると、13名の離任があり、16名の着任がありました。(詳細は別紙配布済)春は別れの季節とともに出会いの季節でもあります。新しい出会いが、皆さんにとって良いものになりますように。

始業式・対面式

着任式に引き続いて、これもまたオンラインで始業式と対面式が行われました。今年度は運動場が工事エリアとなって使用できないため、全校での集会等はオンラインのリモート実施となります。不便なところですが、雨や暑さ・寒さを気にしなくてよいという利点もありますので、皆さん我慢してください。

対面式では生徒会代表の歓迎の言葉と、新入生代表の言葉がありました。それぞれ心がかもった温かい声掛けとなりました。先輩・後輩として仲良く、そして礼節を大切にしながら思い出に残る学校生活をよろしく願います。

学校長の話より

始業式では、ある新聞記事を紹介しながら、平和の尊さ大切さを訴えました。世界の現状も鑑み、「今、自分として何ができるか」ということを考え、どんな小さなことでも良いので実践できる皆さんであってほしいです。

(ある新聞記事の一部)……広島県の比治山にたたくむ老桜を見ました。「被爆桜」の1つ

で、爆心地から 1.8 キロ地点に立つソメイヨシノでした。熱線などの影響で幹の成長具合に差が生じ、爆心地の方向に傾いています。その桜は見物人が立ち寄らない山中にあります。しかし、「誰が見てなくても、私は咲くのだ!!」と必死で花弁を広げているように見えました。泰然たる姿が被爆者の方々と重なりました。

ある広島的女性は 7 歳で被爆。原爆は家を焼き払い、兄の命を奪いました。生活は一変し、小学校にも通えず、炭売りや糞尿の処理をして家計を支えたそうです。読み書きが苦手な彼女は、不戦の誓いを未来へつなぐため、約 35 年前から原爆ドーム周辺のゴミ拾いを始めたそうです。最初のころは傍観や冷笑もあったとのこと。それでも「私は私のできる“平和の戦い”をするだけ」と頑張り続けました。たった 1 人で始めたその運動は、今では彼女に共感する若者たちが集う NPO 活動になっています。

先述の被爆桜には、こもが巻かれ、支え棒がしてあります。木に訴える術はありませんが、そこに宿る精神を感じた人々によって、厳然と守られていたのです。原爆投下から今年で 77 年。全国の被爆者 127,755 人(昨年 3 月末時点)の中には「今も語れない」と口を閉ざす方々がいます。“無言の叫び”を感じ、守ってこそ、平和への思いは次代へつながると思います。……

入学式の式辞より



輝かしき新入生の皆さん、花乃井中学校へのご入学、本当におめでとうございます。まずは、朝の挨拶をしましょう。「皆さん、おようございます。」

皆さんは、栄えある第 76 期生となります。数ある中学校の中で本校を選んでくれた未来の大人物に、深い縁を感じるとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。本日より、本校で大切なお子様をお預かりいたします。お

子様にとっての大切な 3 年間、ご家庭との連携を密にとらせていただきながら、保護者の皆様方のご期待にお応えできますよう、本校教職員一同、一致団結して努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんが入学してくることを、私はとても楽しみに待っていました。皆さんは私たちの大切な、大切な宝物です。これからも皆さんのことを、ずっとずっと見守っていきます。今、皆さんは期待と不安が入り混じった複雑な気持ちであると思います。そんな皆さんへ、本日は本校の校訓についてお話しします。

本校の校訓は、皆さんの右前に掲げられているように「自主・協調・責任」です。この 3 つは、皆さんがこれから生きていく中でとても大切なキーワードとなります。それぞれ別々に考えるのではなく、互いにつながっている関係として捉えてください。

まず、「自主」とは自分自身が主役ということ。それは言い換えれば「自分を大切にする」ということでもあります。「自分」という一個の生命は、他の何にも変えられない尊い存在であります。自分を大切に、とは誰しもが思うことですが、それとは裏腹に、結果として自分を粗末にしていることがあまりにも多いのです。皆さんは、どうか自分を大切にしながら、何といっても自分らしく、人生の主役を演じきってください。

また、古くから「桜梅桃李」という言葉があります。「桜」「梅」「桃」「李(すもも)」と書いて「おうばいとうり」と読みます。桜は桜の花を、梅は梅の花を、それぞれが独自の花を咲かせて美しいということです。人生において、時には自分にはないものにあこがれ、他の人をうらやましく感じることもあるかもしれません。そんな時は、自分の長所に目を向けてみましょう。他人と自分を比べるのではなく、個性を磨いて自分の花を咲かせていけばいいのです。

その際に、気をつけなければならないのが「協調」ということです。人間はけっして一人では生きていけません。回りの人々の支えがあって初めて生活やその他のことが成り立ちます。周囲の方々への感謝と共に、「協調」していく姿勢こそが、豊かな人生を作ります。

また、皆さんは、主役であるがゆえにまずは自分自身に対して「責任」を持たなければなりません。そして、生活の中で役割が増えていけば、それに伴って他者へ対する責任も大きくなっていきます。その大きな責任に負けてしまいそうなときもあるかもしれません。しかし、そこで他者との「協調」が力を発揮します。人間はけっして一人ではないということ。皆さんの、これから3年間の中学校生活においては、私たち教職員をはじめ、お家の方々、そして周りの友達が必ず皆さんの支えになります。そのことを絶対に忘れないでください。

さあ、76期生の皆さん。新たな生活のスタートです。新しき伝統を築いていく皆さんの3年間の、悔いなきものになるように、私たちとともに頑張りましょう。皆さんの健康と大活躍を心より祈念しまして、式辞といたします。

工事が進んでいます



クラブハウスや体育倉庫などがあつたエリアが更地に整地され、新校舎増築の基礎工事が始まりました。杭打ちの重機やコンクリートを流し込む設備がセッティングされています。教育活動を妨げないように急ピッチで工事が進められています。

新しい職員室と校長室が出来上がり、3月29日に引っ越ししました。

新職員室・校長室は正面玄関入って右(今までは左)に曲がって進んだ奥の左手(旧調理室・調理準備室)になります。部屋自体はきれいで、少し広くなりましたが、教職員の数が増えた(これからもっと増えていきます。)ので、かえって狭くなったように感じています。